

平成18年新司法試験の結果

平成18年9月21日
法務省大臣官房人事課

1 合格者数等

(1) 合格者数 1,009人

(参考)

- ・ 出願者数 2,137人
- ・ 受験予定者(出願者中,法科大学院を修了した者)の数 2,125人
- ・ 受験者数 2,091人(途中欠席4人)
 - 男性 1,552人(途中欠席3人)
 - 女性 539人(途中欠席1人)
- ・ 短答式試験の合格に必要な成績を得た者の数 1,684人

(2) 合格判定

論文式試験の各科目において,素点の25%点(公法系科目・刑事系科目は50点,民事系科目は75点,選択科目は25点)以上の成績を得た者のうち,短答式試験の得点と論文式試験の得点による総合評価の総合点915点以上の1,009人を合格者とする(平成18年9月20日司法試験委員会決定)

(3) 合格者の選択科目別人員・割合

倒産法	237人(23.5%)
租税法	55人(5.4%)
経済法	109人(10.8%)
知的財産法	159人(15.8%)
労働法	331人(32.8%)
環境法	46人(4.6%)
国際関係法(公法系)	18人(1.8%)
国際関係法(私法系)	54人(5.3%)

(4) 総合評価対象者 1,672人

短答式試験の合格に必要な成績を得た1,684人のうち,12人は,最低ライン点に達しない科目があるため,総合評価の対象外

(5) 総合点

- ・ 最高点 1453.37点
- ・ 最低点 593.62点
- ・ 平均点 951.46点

(6) 合格者の年齢別構成

- ・ 平均年齢 28.87歳
- ・ 最高年齢 58歳
- ・ 最低年齢 23歳

(7) 合格者の性別構成

- ・ 男性 781人(77.40%)
- ・ 女性 228人(22.60%)

(8) 合格者の司法試験受験回数

- ・ 1回目 748人
- ・ 2回目 247人
- ・ 3回目 14人

対象となる司法試験は、平成16年度旧司法試験、平成17年度旧司法試験及び平成18年新司法試験である。

2 論文式試験結果

(1) 論文式試験採点対象者 1,684人

短答式試験の各科目において、満点の40%点（公法系科目40点，民事系科目60点，刑事系科目40点）以上の成績を得た者のうち，各科目の合計得点が210点以上の成績を得たもの（平成18年6月12日司法試験委員会決定）

(2) 得点

- ・ 最高点 672.78点
- ・ 最低点 183.18点
- ・ 平均点 404.06点

(3) 科目別得点等

試 験 科 目		最 高 点	最 低 点	最低ライン 点未満(人)
公 法 系 科 目		169.02	37.10	1
民 事 系 科 目		275.75	31.28	5
刑 事 系 科 目		185.01	34.35	1
選 択 科 目	倒 産 法	79.36	15.79	3
	租 税 法	71.38	19.87	1
	経 済 法	79.25	19.86	
	知 的 財 産 法	84.61	18.29	2
	労 働 法	84.73	17.97	
	環 境 法	69.64	27.39	
	国際関係法(公法系)	68.21	29.45	
	国際関係法(私法系)	70.68	16.26	
最低ライン点未満実人員				12

3 参考資料

- ・ 平成18年新司法試験総合点別人員調（総合評価）
- ・ 平成18年新司法試験論文式試験得点別人員調（合計得点）
- ・ 平成18年新司法試験論文式試験得点別人員調（公法系科目）
- ・ 平成18年新司法試験論文式試験得点別人員調（民事系科目）
- ・ 平成18年新司法試験論文式試験得点別人員調（刑事系科目）
- ・ 平成18年新司法試験論文式試験得点別人員調（選択科目）